

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年9月4日 ～ 2025年9月17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	17
○従業員評価実施期間	2025年9月4日 ～ 2025年9月17日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	第3機関との連携、情報共有を定期的に実施	支援に対し率先して職員間での困りごとの共有	毎月2回(支援会議・職員会議実施)
2	法人全体で支援力担保の為の支援勉強会の定期実施	支援力向上のため、PBS(ポジティブ行動支援)の考え方を取り入れている	法人内の品質管理部主催のPBS(ポジティブ行動支援)の勉強会の定期実施・進捗報告会・グループワーク実施
3	個別対応プログラム実施	利用者様の特性・性格を意識しての職員会議実施	職員体制の中で個別対応チームを設置し話し合う機会の増加促進

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	堺市での18歳以降の就労情報提供	未就学・児童支援のみの実施を続けていたため	グループ法人内での就労情報の共有化
2	支援方法や支援手段の情報量の少なさ	他放課後等デイサービスを知らない	研修・勉強会の実施
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぽいんといちに

公表日 2025年10月8日

利用児童数

23名

17回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	2	1		2階は主に宿題、体調不良時の休憩スペースとして利用しているが、平素から中高生の活動スペースとしていく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		1		バリアフリー化は難しいが、階段、トイレ等に手すりを設置。事業所前が車道のため、後付けの鍵と必要に応じて補助錠を使用。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1		1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	2	7		放課後児童クラブや児童館との交流は現段階ではないが、地域の公園で遊ぶ時に交流する機会がある。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3		1		昨年度、ペアレントトレーニングを実施。今後も希望があれば開催可能。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	1			モニタリング面談は6か月に1回は必ず実施。連絡帳、ライン、電話、送迎時に相談があれば随時対応。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	4	6	5		昨年度、ペアレントトレーニングは実施したが、保護者会という形では開催せず。今年度は開催予定あり。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		2		重説に記載しており、契約時に説明している。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14		2	1	普段のこどもの様子を写真などで見れたら嬉しいです。	月1回行事予定を発行。必要に応じてライン等で保護者様に連絡を行っている。夏休み後に特別号で写真を掲載して配布。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		2		HPにマニュアルを掲載する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		1		訓練実施後に保護者様にその旨伝える。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		1		HPにマニュアルを掲載する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2			満足している部分が多いのですが、利用した当初にあったものがなくなって少し寂しいです（ほいんとにしがれやお誕生日カードなど）	長期休暇後に特別号で写真を掲載して様子を伝える形に変更して実施。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぼいんといちに	公表日			2025年 10月 8日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	2階は主に宿題、体調不良時の休憩スペースとして利用している。	少し狭く感じることもあるため、平素から中高生の活動スペースとしていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	3	職員配置数は満たしている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	極力刺激を減らすため、不要な物が目に入らないよう構造化に努めている。	整理整頓に努める。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日の清掃、消毒と、月に1回エアコンフィルターの清掃を実施。	建物自体の老朽化によりトゲが刺さるなどケガの恐れがあるため床、棚のコーティングで対応を行った。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	クールダウンが必要だったり落ち着いた環境で宿題に取り組めるスペースがある。体調不良等で休む場所もあり。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		朝礼にて毎日の振り返りと目標設定を行っている。参加できない職員にはラインで共有。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		現段階での実施なし。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々アセスメントを取りケース記録に記載。それを元に個別支援計画の作成をしている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		インフォーマルなアセスメントとして時系列のアセスメント記録用紙を作成し、記載していく予定。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		翌朝の朝礼で共有する場面を作り周知	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1		職員に4つの基本活動を伝える必要性あり。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		写真カード等を用いて自己選択できるよう取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	サービス担当者会議や送迎時等に他デイ、学校と情報共有して連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	適宜行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	特に児童発達支援事業所とは情報共有できている。	現段階では情報共有はしていないが、必要に応じて行っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		現段階ではないが、求めに応じて情報共有していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	児童発達支援センターを見学したり所属の相談支援員より助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	地域の公園で遊ぶ時に交流する機会がある。	放課後児童クラブや児童館との交流は現段階ではない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		自立支援協議会自体の活動がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	モニタリング面談は6か月に1回は必ず実施。連絡帳、ライン、電話、送迎時に相談があれば随時対応。	適宜行っており、今後も行っていきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	昨年度はペアレントトレーニングを実施。	昨年度、保護者会という形では開催せず。今年度は開催予定あり。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	絵カード、写真カード、文字などの視覚情報を使用。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		今後の検討課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		周知を徹底する必要あり。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	研修は定期的に実施。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		周知を徹底する必要あり。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	定期的に代表的な事例検討は行っている。	ヒヤリハットは記入しているが全事例検討までには現段階至っていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			